

音楽 I レポート		《この道》を歌おう		教科書 『MOUSA 1』		P.35 《この道》 P.36 《この道》徹底調査! P.39 日本語の歌詞の歌い方 P.98 日本音楽の流れ P.153 西洋音楽の用語と記号	
提出日	月 日	氏名		得点		評価	

## ① 《この道》(教 P.35) の詩を朗読し、次の問いに答えよう。

## 1) 《この道》の詩を完成させよう。[主]

(各 2 点 = 16 点)

この (ア) はいつか来た (ア)、 ああ、そうだよ、 (イ) の花が咲いてる。	あの (ウ) はいつか見た (ウ)、 ああ、そうだよ、 ほら、白い (エ) だよ。	この (オ) はいつか来た (オ)、 ああ、そうだよ、 お母さまと (カ) で行ったよ。	あの (キ) もいつか見た (キ)、 ああ、そうだよ、 (ク) の枝も垂れてる。
--	---	--	--

ア	
イ	
ウ	
エ	
オ	
カ	
キ	
ク	

## 2) 《この道》の詩について、説明として正しいものを次から 2 つ選ぼう。[知/思・判・表]

- ア 「ああ、そうだよ、」の部分を除くとほとんど七五調で、詩のリズムに規則性がある。  
イ 散文調で、詩のリズムに規則性はない。  
ウ 明るい未来への希望が描かれている。  
エ 思い出をもとにした情景が描かれている。

(各 2 点 = 4 点)

--	--

## ② 《この道》(教 P.35) について、次の問いに答えよう。

## 1) 《この道》について、次の文章を完成させよう。(教 P.35、P.98 参照) [知]

(各 2 点 = 6 点)

《この道》の詩は、(ア) によるもので、夏に旅した北海道の情景と、幼い頃の記憶を重ねて書かれたといわれている。作曲したのは(イ)で、彼は東京音楽学校で教育を受け、(ウ)の手法を用いて芸術的な音楽作品をつくった。

ア	
イ	
ウ	

## 2) 「西洋音楽の用語と記号」(教 P.153) を参考に、記号の名称と意味を答えよう。[知]

(各 2 点 = 32 点)

記号	名称	意味	記号	名称	意味
<i>p</i>					
			<i>mf</i>		
			<i>pp</i>		

3) 曲を聴き、曲想の説明として正しいものを次から1つ選ぼう。[思・判・表]

- ア 非常に速いテンポで、情熱的である。
- イ 速いテンポで、活気にあふれている。
- ウ ゆったりとしたテンポで、静かで落ち着いている。
- エ 重々しいテンポで、悲しみに満ちている。

(2点)

③ 「日本語の歌詞の歌い方」(教P.39)を読み、次の問いに答えよう。[知]

1) 次の文章を完成させよう。

(各2点=6点)

日本語の歌を歌うときには、(ア)を意識して明瞭に発音することが大切だが、そのことを意識するあまり、逆に(ア)を強調しすぎたり、硬い発音になったりしないよう気を付ける。なるべく自然な(イ)を意識しながら、言葉の(ウ)に気を配って歌う。

ア	
イ	
ウ	

2) 濁音と鼻濁音について、説明として正しいものを次から2つ選ぼう。

(各2点=4点)

- ア 「ガ行」の発音には、濁音と鼻濁音がある。
- イ 語頭や数字、強調するときは鼻濁音、それ以外は濁音になる。
- ウ 《この道》の詩にある「花が咲いてる」の「が」は鼻濁音である。
- エ 「十五」の「ご」は鼻濁音である。

④ 《この道》(教P.35)を歌おう。

1) 《この道》の詩を再度朗読し、ピアノ伴奏に合わせて歌おう。[主]

2) 「《この道》徹底調査！」(教P.36)を読み、楽譜を見ながら音源を聴いたり実際に歌い試したりして、次の問いに答えよう。[思・判・表/主]

(1) Point 3 について、前奏で同じ音が連打されることで、作曲者はどのようなことを表現したいと考えたか、想像して書こう。(5点)

(2) Point 4 について、拍子の変化がどのような効果を生んでいるか、考えたことを書こう。(5点)

(3) Point 5 について、なぜここで曲の雰囲気に変化するのか、考えたことを書こう。(5点)

(4) Point 8 について、どのように歌ったらよいか、考えたことを書こう。(5点)

3) それぞれの Point を意識して《この道》を通して歌い、歌ってみて感じたことや、難しいと感じた部分、その理由などを書こう。[思・判・表/主]

(10点)